

2024年4月16日作成 Ver. 4

《情報公開文書》

血中貪食細胞を検出する新規技術の臨床的有用性の検討

研究の概要

【背景】

血液は本来無菌ですが、感染症が進行すると血液中に細菌が検出されることがあります。これを血流感染症といいます。血流感染症は、血液培養検査によって診断し、早期治療が重要ですが。血液培養検査は結果が出るまでに数日を要するため、より早く診断する新しい方法の開発が望まれています。研究責任者は血流感染症の早期診断を実現するために新しい技術を開発しました。

【目的】

血液中の細菌を貪食した好中球（貪食細胞）を検出する新しい技術が血流感染症の診断に有用かどうかを検討するために、まずは代表的な黄色ブドウ球菌と大腸菌で検出が出来るかどうかを明らかにします。

【意義】

血液中の貪食細胞を検出する新しい技術が臨床検査として有用であれば、血流感染症の早期診断・早期治療に役立ちます。

【方法】

血液培養検査がされた患者さんについて、血液培養検査がされたその日あるいは翌日の採血後の残余血液を使わせていただき、血流感染症診断における血液中の貪食細胞を検出する新しい技術の有用性を調べます。

対象となる患者さん

研究機関長の許可日から2024年12月31日に長崎大学病院で血液培養検査を受けられた患者さんのうち、血液培養検査がされたその日あるいは翌日に血液検査をされた方

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

血液培養検査の結果を収集します。

●研究に用いる試料

血液検査終了後の残余血液を使用させていただきます。

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2026年3月31日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 ウイルス学分野 氏名：宇野 直輝 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-12-4 電話：095 (819) 7154
試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先**【研究の内容、試料・情報等の利用停止の申し出について】**

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 ウイルス学分野
〒852-8523 長崎市坂本 1 丁目 12 番 4 号 医学ミュージアム3階
電話：095 (819) 7154

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200
受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）